



第1回 Art to You! 東北障がい者芸術公募展に応募し、入選しました。  
吉田 茂 作『はな』



第104号  
発行

〒970-8003  
いわき市平下平窪字熊ヶ平6番地  
TEL (0246) 23-5311  
FAX (0246) 23-5312  
はまぎく荘新聞編集委員会  
HP <http://hamagiku.i-fukuin.com>  
E-mail: [kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp](mailto:kuma-house@mx5.et.tiki.ne.jp)

●紙面紹介●

- 1面 作品  
所長よりご挨拶  
医務だより
- 2面 今年度事業計画  
花見
- 3面 障がい者体育大会  
県障害者の研修会  
保護者との研修会  
行事計画/施設整備等関係  
新職員紹介/新しい仲間
- 4面 異動・退職者  
パート職員から支援員へ  
寄付/お知らせ/編集後記

所長よりご挨拶

所長 志賀 道子

今年四月より、障害者支援の報酬改定がありました。そう言っているのもつかの間、障害者総合支援法の「三年後の見直し」の論議が始まっているとのこと。

今回の報酬改定は、入所型施設に手厚かったのを変更し、地域で暮らす要支援度の高い高齢者や障害者の支援をする事業に補助金を傾斜配分しようという方針を読み取ることができると、野澤氏は述べていますが、入所施設は、生活介護の減額に加えて「補足給付」が削除される分、単価の引き下げ幅が大きく、風当たりは厳しさを増しています。はまぎく荘の現状は、高齢化と障害の多様化ですが、利用者の支援をする上で直面するのは、意思決定であり個人が人としての尊厳をもって、家庭や地域の中で障害の

有無や年齢に関わらず、その人らしい安心な生活が送れるよう自立を支援するという理念をどこまで実現されるのかです。制度や政策の変化が、利用者本位の社会福祉制度の確立を図り、障害者のノーマライゼーションと自己決定の実現をめざすために行われたものであるとするならば、質の高い福祉サービスの取り組みが望まれ、施設から地域生活への移行を本格的にめざした障害者それぞれのニーズに合った個別的な支援を提供することが求められます。

地域生活への総合的支援に導入された本人のニーズに基づくケアマネジメントの実践と資源の充実がうまく構築されれば、地域生活への新たな支援の実現が見えてくると思いつつも、入所施設の利用者の支援に、職員一丸となつて取り組んでいる強みと地域生活移行支援に、サービスを提供することへの弱みを実感しているところ です。

ただ、現実問題として、入所施設の私たちの存在意義と使命について、「よい支援とは何か」を共通認識し、福祉の動向を見極めながら、職員の質の向上、サービスの質の向上を追求し、努力していきたいと思 います。



医務だより

五月から、がん検診が始まりました。はまぎく荘の利用者さんも、乳がん・胃がんの検診を実施しています。

一月の生活習慣予防健診時には、五十歳以上の男性は前立腺がんの検査（PSA）を実施、全員異常ありませんでした。また、今年度は肝炎ウイルスの検査を実施し、こちらも異常ありませんでした。

これから夏に向けて注意したいのが、熱中症です。気温が高く、湿度も高い日は注意したいです。こまめに水分補給を実施し、利用者さんの健康管理に努めたいと思います。

職員の方も、お酒を飲まれる方は脱水になりやすい為、アルコール類は控えましょう。

熱中症対策に『ミネラル入り麦茶』が効果的との事。体調を整え暑さを乗り切りましょう。



# 今年度事業計画

次長 植原 明 美

はまぎく荘は「共生共感」を福祉の基本方針として、今まで歩んできました。施設の正面には「共生共感」と刻まれた石碑があります。開所からその思いは受け継がれています。

今年職員(常勤二十一名・パート八名)二十九名での構成で始めました。開かれた施設を目指し、地域貢献にも努めていきたいと思えます。

利用者一人ひとりに、向かい合い・声を聞き・一緒に行動し、苦楽を共にできる支援を職員全員で行っていきます。

## 〈支援〉

利用者の意思決定支援に向けた取り組みを行い、利用者の人権を尊重し、専門性を生かした支援を行います。

昨年からアート活動に力を入れていきます。アートは自分を表現できる活動であり、老若男女すべてが参加できます。今年も全国規模の展示会に数多くの出品をしていきます。

短期入所・日中一時支援を行うこと



で、施設の有する機能の拡充を図っていきます。

## 〈医務〉

高齢化・重度化が増えてきているので、早期発見・早期治療に心掛け、嘱託医との連携により健康管理に努めます。又、本人の代弁者となれるよう気づき・気配りに心掛けます。

## 〈給食〉

医務・支援と連携して、利用者一人ひとりにあつた栄養ケアに努めます。利用者に安全で美味しい食事を提供するために厨房内の全面床改修・器具の交換を予定しています。



# 花見

いわき海浜自然の家にて



五月二十一日、例年なら終わっているはずのイベント『花見』。毎年花見の時期は寒い日が多く、暖かくなつてから実施してみてもとの事で行われませんでした。場所はいわき海浜自然の家。五月となると初夏を思わせる汗ばむ陽気で、桜の花も既に散つて花見というより遠足気分です。皆さん出掛けました。

海浜自然の家に着くと記念撮影を行ない、その後、館内



へ移動し体育館を利用してのレクリエーション活動を行いました。班に分かれての大玉転がしリレーやシッポ

はありましたが、天気とみなさん笑顔にも恵まれ穏やかに過ごせた一日になりました。

の時間。自然の家の食堂でバイキング。皆さんラーメン、カレー、炒飯等自分の好きな物を手に取り何度もお代わりに往復して席に運び、至福の時を過ごしました。昼食後も再び体育館でレク活動に参加したり、おやつを食べて過ごしたりと、楽しい時間を過ごし帰路につきました。花見としては花がなく物足りなさ

取りゲームを行い、皆さん笑顔で汗を流しながら楽しんでいく様子が見られました。花見の行事での散策なしで室内での活動は今回初めてとあつて不安な所もありましたが、利用者さんの笑顔と楽しんでる姿を見ると企画して良かったと思えました。



レクリエーションが終わると、皆さん楽しみにしていた昼食

# 県障がい者体育大会

## 開成山陸上競技場

五月十七日開成山陸上競技場にて福島県障がい者体育大会が行われました。初夏を感じた。初夏を感じた。晴天の下、お揃いの運動着で八名の方がジャベリックスローに参加しました。ジャベリックスローとは、ロケットのような形状の物をやり投げの要領でより遠くまで飛ばすことを競うもので、今年度



初めて挑戦した競技です。日々の練習の成果を発揮し見事メダルを獲得できた方、惜しくも入賞を逃した方、どちらも大会という雰囲気を楽しみ達成感を味わうことが出来たのではないのでしょうか。メダルを首から下げ、帰荘した皆さんの表情はとても誇らしげでした。また来年、たくさんのメダルを獲得できるように、練習を積み重ねましょう。

### 大会結果

金メダル	柚原節子さん 山崎秀男さん 三嶋拓哉さん
銀メダル	吉田 茂さん
銅メダル	立野淳子さん 間瀬智志さん

## ● 行 事 計 画 ●

4月	年度始め
5月	遠足(花見) 県障がい者体育大会
6~11月	グループ旅行 (1泊班と日帰り班で)
9月	みはま福祉祭り in はまぎく (はまなす・はまゆうと合同) 小島保育園との交流会
10月	芋煮会 九品寺幼稚園との交流会
12月	クリスマス・忘年会
1月	生活習慣病予防検診
2月	ボランティア親睦会
3月	保護者との一泊研修 四者面談

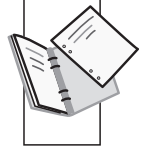
## ● 施設整備等関係 ●

- ・ 厨房改修(厨房・検収室)  
床の全面改修・器具交換
- ・ 玄関ポーチ修繕他工事
- ・ 廊下風よけ柵工事(女子棟)
- ・ 軽車両購入
- ・ 他随時修繕



## 保護者との研修会

### いわき新舞子ハイツ



二回目となる『保護者・職員研修会』が、三月七日(土)八日(日)に「いわき新舞子ハイツ」にて開かれました。今回は十三家族十九名の保護者に参加していただきました。今回も保護者と職員のお互いの情報交換と交流を目的に研修会と懇親会が行われました。研修会では、志賀所長のはまぎくの後、男子棟・



女子棟チーフより平成二十六年の支援状況、看護師からの年間報告がありました。また、高木課長より身体拘束同意書及び緊急時連絡先の記入についての説明を行いました。その後、参加された保護者と職員で四者面談を実施し、職員より個別支援の状況についての報告、看護師より生活習慣病健診の結果、栄

養士より栄養計画書等の説明を行いました。保護者からの利用者への希望も確認し、研修会を終了しました。

懇親会では、佐藤秀勝氏の乾杯の音頭の後、保護者・職員間での和気あいあいな歓談や保護者による美声を披露したカラオケで大いに盛り上がりました。来年度も実施予定でありますので、多くの保護者の皆様の参加をお待ちしております。



新職員紹介



支援課長  
布施 裕孝

四月に光の家からはまぎく荘へ異動して来ました布施裕孝です。

長年身障系の施設に勤め、知的施設は初めての職場で毎日が新鮮な事ばかりです。

大きなことはできませんが、利用者の方との関わりを大切に、コツコツと頑張りますのでよろしくお願い致します。



主任支援員  
蛭田 美幸

四月一日付で、はまなす荘から異動になりました蛭田美幸です。よろしく申し上げます。

利用者さんや職員の方々に教えていただきながら、また、利用者さんの笑顔や退勤時の「今度いつ来んの?」「ゆっくりに休んでね。」のことばに励まされ、いやされながらがんばっています。



栄養士  
大平ちあき

カナン村より異動になりました栄養士の大平と申します。

栄養士になり、はや二十二年になろうとしておりますが、日々勉強です。はまぎく荘でも利用者の皆様に良い食事が提供できますよう、努力していきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。



支援員  
佐藤 愛美

私が障がい者施設で働きたいと思ったきっかけは大学の施設実習で、初めて障がいをもって居る方と関わって一人ひとりをよく知って一人ひとりに合った支援をしていくことに、とてもやりがいを感じたからです。この気持ちを忘れずにこれから頑張りたいと思います。

私が障がい者施設で働きたいと思ったきっかけは大学の施設実習で、初めて障がいをもって居る方と関わって一人ひとりをよく知って一人ひとりに合った支援をしていくことに、とてもやりがいを感じたからです。この気持ちを忘れずにこれから頑張りたいと思います。



支援員パート  
渡邊 幸子

二月よりパート支援員として入職致しました。毎日覚えることが多く不安でしたが、利用者さん、職員の皆様に助けられ、いつの間にか不安がなくなり、今は毎日利用者さんの明るい顔を見るのが楽しみです。

まだまだ勉強不足な私ですが、利用者の皆様が楽しい毎日が送れるよう支援をしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願致します。

★新しい仲間

四月一日付で古館福祉ホームから入所となりました、滝口亜紀さんです。明るく楽しい仲間が新たに女子棟に加わりました。よろしく申し上げます。



異動・退職者

◆異動職員 (H27・4)  
高木郁夫課長 はまなす荘へ  
藤間俊江主任 はまなす荘へ  
渡邊美奈子管理栄養士  
カナン村へ

◆退職者  
小泉友子さん  
平成27年2月をもって退職  
お疲れ様でした。

パート職員から  
支援員へ

昨年度までパート職員として勤務しておりました石井浩恵さんですが、今年度から支援員として勤務することになりました。

新しい職員が増え、より楽しく、安全な生活ができるような支援を心掛けていきたいと思っております。よろしくお願致します。

寄付

クレハ労働組合様  
鈴木 武様  
ありがとうございます。



お知らせ

矢吹悦子さん  
平成二十七年三月二日永眠。  
いつも若々しく、おしゃれだった矢吹さん。

鈴木英俊さん  
平成二十七年六月十日永眠。  
笑顔が素敵だった英俊さん。  
ご冥福をお祈りいたします。  
合掌。

編集後記

新しい利用者・新しい職員が加わったわけですが、ようやくそれぞれ生活にも慣れ、落ち着いて参りました。今年度も様々な行事や季節イベントを予定しております。安全に楽しく、一つひとつを素敵な思い出になりますよう励んでまいります。

毎日暑い日が続きますが、熱中症には気をつけたいものです。  
九月五日(土)みはま福祉祭inはまぎくが開催されます。皆さんどうぞご来荘下さい。

